



「変革 2027」の実現に向けた組織の再編 について提案を受ける！

水戸地本は、本日「変革 2027」の実現に向けた組織の再編について提案を受けました。全系統に関わり、職場と働き方等に大きな変化をもたらす施策であると認識しています。その中でも安全を前提に「健康・ゆとり」が確保される施策にしていかなければなりません。今後、組合員からの要求に基づき団体交渉を行っていきます。提案内容と特徴点は以下の通りです。

議論の特徴点

● 現業機関の再編

- (1) (営業) 統括センター関係 (駅・乗務員)
今後も (営業) 統括センターの設置等を推進していく。
- (2) 車両関係
勝田車両センターを首都圏本部の現業機関とする。
- (3) 設備関係 以下の設備技術センターを新設

◆土浦運輸区、水戸運輸区、水郡線統括センターの検修部門は首都圏本部と兼務を検討

【ライン管理について】

- ◆常磐線は東京・水戸・仙台支社で輸送計画等行っているが、首都圏本部で行うことを検討
- ◆実施時期は未定

水戸保線設備 技術センター

(高萩派出)
(大子AC)

水戸土木設備 技術センター

土木
構造物管理
センター
(いわき派出)

水戸建築設備 技術センター

建築
フィールド
センター

水戸機械設備 技術センター

水戸電力設備 技術センター

(土浦MC)
(水戸MC)
(いわきMC)
(原ノ町MC)

水戸信号通信設 備技術センター

(土浦MC)
(水戸MC)
(いわきMC)
(原ノ町MC)

土浦保線技術センター、水戸保線技術センター、いわき保線技術センター、水戸土木技術センター、水戸建築技術センター、水戸電力技術センター及び水戸信号通信技術センターの体制を見直す

- (4) 医療関係 ◆健康推進センターに名称が変わる。大きな変更があるわけではない

水戸鉄道健診センターを水戸健康推進センターとし、JR 東日本健康推進センターの現業機関とする。

● 企画部門の再編

水戸支社の現行の各部課室を監査室、地域共創部、鉄道事業部、企画総務部に再編すると共にユニット制を導入する。

● 業務の見直し

- (1) 現業機関において現在担当している業務の一部の見直しを行う。
- (2) 水戸支社の企画部門において現在担当している業務の一部を現業機関へ移管する。
- (3) 水戸支社の企画部門において現在担当している業務の一部を首都圏本部へ集約する。

● 箇所体制

◆各保技セの体制見直し、各設備技セの新設に伴う設備業務の集約等により要員削減する

● 実施期日

- (1) 車両センターの再編は 2023 年 6 月
- (2) 設備技術センターの設置は 2023 年 6 月
- (3) 水戸鉄道健診センターの設置は 2022 年 10 月
- (4) 企画部門の再編は 2023 年 6 月
- (5) 業務の見直しについては 2022 年 10 月

● その他

- (1) 第 3 項第 3 号に関わらず水戸支社において担当している業務一部を首都圏本部または東北本部等に集約する場合がある。
◆東北本部に集約する業務は現段階はない
◆本社に集約する業務もある
- (2) 実施に向けて教育訓練等の必要な準備を行っていく。

安全を第一に「健康・ゆとり」を確保できる職場を目指して要求しよう！